

聞いてみたいなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20名 質問 43項目

「一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から「本会議録画中継」を検索してください。公開は次の12月定例会議までです。

政策

行政改革について



白井 建

削減の行革から適正化の行革への移行の必要性について明示する予定である。

Q 質の行革としてICTの利活用を進めるべき。市の窓口業務等でタブレット端末の試行を研究してはどうか。タブレットの導入については、運用方法やセキュリティ対策等の研究が必要。今後は費用対効果などの検証をしながら、紹介のあった焼津市の例も含め研究を進めたい。

他に主権者、大規模事業の評価と今後の取り組みについて質問した。



※ICT
Information and Communication Technology
情報通信技術の略

市議の Q&A 市の

都市計画

都市計画道路について



中嶋 博幸

Q 大悲願寺から五日市小机坂下に計画されている都市計画道路未施工区間は、まだその計画通り進める予定か。全体延長2800mのうち、現在まで1080mが完成。未整備区間の整備手法等について、東京都と協議を進めながら検討したい。

Q 用地買収を含め、いくらかかる想定か。

A 参考として、完成区間に約29億7300万円。物価上昇を見込む予算を1m当たり330万円とし、未整備区間分は約59億4千万円が想定される。

Q 武蔵増戸駅北側の都道165号線があと少しで秋川消防署付近につながり、五日市や北伊奈地区の方は、日の出、福生方面への往来が便利になる。それに伴い、上伊奈踏切から南下している狭い道路への往来も確実に増えることが明らかで、すれ違いのスペースなど対応策を検討するのが急務である。地域との協議など必要と考えるが、市の対応は、

A 上伊奈踏切から南へ五日市街道に抜けるルート、踏切手前を右折し大悲願寺から五輪坂へ抜けるルート、どちらも部分的に狭い。165号線の整備状況を踏まえつつ、事前の対応が取れるよう、近隣自治会と協議を進めたい。

他に小・中学生への部活動支援について質問した。

労働

創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Staについて



増崎 俊宏

子育て世代の就労や起業・創業したい方など仕事に関するさまざまな支援を目的として「創業・就労・事業承継支援ステーション Bi@Sta (ビスタ)」がある野比ア2階にオープンし、1年が経過した。

Q 創業、就労、事業承継、それぞれの窓口業務の利用実績及び成果は。

A 本年7月末までの1年間の創業相談140件、就労相談98件、事業承継相談3件。ハローワークへの案内件数が29件、成果は4人が市内で創業、現在2人が創業準備。

AQ ビスタ開設の手応えは。1年間の相談件数は438件あり、創業塾の参加者を中心に、利用者がいるいろいろな交流を深め、ネットワークができています。

Q 今後オープンする子育て支援拠点施設との連携は。

A 「こころの」から5件ほど就労などの相談があり、それをハローワークにつないでいる。今後多くの子育て世代の方の利用が見込まれる。他に財政の見える化について質問した。



観光

観光施策について



田中 千代子

観光まちづくりの推進を目的に「あきる野ふるさとプラン行動計画」が策定され、昨年前期5年が経過した。

後期計画は、平成32年のオリンピック・パラリンピックの年までであることから、一層の充実を求める。

インバウンド観光（訪日外国人旅行）に対する受け入れ環境の整備と、マナー啓発の取り組みは。

Q 2020年の東京大会に向け、安全かつ快適な滞在環境を提供するために、パンフレット、案内標識、デジタルサイネージの多言語対応等の環境整備を進めている。



Q ふるさと工房の利用拡大を希望する声がある。市の見解は。

A 小学校等の体験学習では、人数に応じた利用がされており、軍道紙保存会が委託の範囲内で管理している。今後の活用方法については、関係団体と連携しながら調査・研究していく。

Q 軍道紙の保存と活用について、今後の取り組みと方向性に対する市の見解は。

A 市内の学校の卒業証書等に軍道紙を使用。製造技術伝承活動については軍道紙保存会に委託し、工芸技術の保存に取り組んでいる。今後も軍道紙の活用と製造技術の伝承・保存に努めている。

防災

安全・安心のまちづくりについて



大久保 昌代

Q あきる野市事業継続計画（BCP）は、災害発生時に最短の時間で復旧を可能とし、必要とされる都市機能を確保するために平成26年に策定された。市内事業所にもBCP策定が広がることが望まれる。市の見解は。

A 例えば、商工会において情報を把握、対応しているか確認する。介護施設や保育施設については、連絡会議や園長会議等で制度の概要について知らせる方向で、対応を協議する。

Q 市役所のBCP見直しについてはいかがか。

A 策定後、退職者や新たな採用、人事異動があり修正が必要である。適宜判断して見直す。

Q 非常時を見越しての実践的な訓練は。

A 今年2月に事前通告なしの訓練を職員に実施。今後も、必要に応じて参集訓練等を実施したい。

Q 災害時、防災備蓄品の運搬が厳しいことも想定される。運搬をどう想定しているか。避難所等に備蓄倉庫の設置を広げられないか。

A 備蓄の状況、また、物資の支援状況などを踏まえて市が運搬する。これまでの備蓄の考え方でいいのか検討する。

他にAED（自動体外式除細動器）について質問した。



防災

地震に関する地域危険度測定調査について



ひはら 省吾

東京都では数年おきに地域危険度測定調査を行い地震の危険の評価をしている。

Q あきる野市内47評価箇所中、もっとも危険度が高い野辺地区に対する現状把握及び具体策はあるのか。

A 災害時活動困難度の判定においても、ランク2となっている。避難場所への安全なルートの確認など、市民一人一人の防災意識の醸成について、防災・安心地域委員会などと連携して取り組む。

A 基盤未整備市街地として狹隘道路や防災のまちづくりに資する整備のあり方を検討し、良好な住宅系市街地への再編に取り組むものと位置付けている。

Q 今後、野辺地区を良好な市街地環境に改善していくための方策について、何か良い事例はないか。

A 地区住民の中で環境改善等の機運やまちづくりへの課題意識が高い地域など、地区内の一定区域に限定をし、地区全体像や将来像は共有しつつも、その地域内の住民間で課題の共有を図り、地区計画制度を活用したまちづくりを先行的に行う手法等がある。

Q 野辺地区のまちづくりについての中長期のビジョンはどのような位置付けか。



他に特別簡易型総合評価一般競争入札について質問した。

都市計画

引田駅北口土地区画整理事業について



辻 よし子

Q 良好な住環境が守られるはずの場所に、地権者との話し合いもないまま、1万㎡のスーパーが来る場合、用途地域はどうなるか。

A 商業系施設の業態や敷地店舗の規模、周辺の住環境などを総合的に勘案して決めていく必要がある。現在、企業とのヒアリングを行っているが、詳細な条件が定まっていないため、特定の用途を示す段階ではない。

Q 大型スーパーであれば、遊戯・風俗施設が認可される用途地域となる可能性が高い。また、商業ゾーンでは専用住宅を認めないとする条件が一方的に加わった。これは法律上、地区計画として地権者の意見を聞いて決めるべきことである。行政の行き過ぎた行為と言え

A 用途地域、地区計画の設定については、これから住民との協議の場を想定している。

Q 市長は、事業に不安や疑問を持つ地権者と、膝を交えてじっくり話す場を設ける考えはあるか。

A 今、意見が来ていない方のところへは職員が行くという形で動いているので、必要があれば、私も伺います。

他に汚水整備計画について質問した。



市議の Q&A 市の

※デジタルサイネージ
ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステム

医療

地域医療の充実について



中村 一広

少子高齢化が進む現代において、市民は病気の不安を抱えながら日々生活していると考えている。いざ病気を発症したとき、少しでも不安を和らげるため、地域医療の充実が不可欠である。

Q

急性期医療における夕方から深夜までの受け入れ体制について、また、阿伎留医療センターを含めた状況はどのようになっているか。

A

公立阿伎留医療センターは急性期病院として、内科医1名、外科医1名、産婦人科医1名、小児科医1名を配置し、夜間の救急患者の対応を行っている。また、



初期救急患者への対応としては、あきる野市医師会と市が委託契約を結び、休日深夜診療を実施しているところである。

Q

地域包括ケアシステムの医療の本市の取り組みについて、状況はどのようになっているか。

A

公立阿伎留医療センターでは、急性期医療を経過した患者が住み慣れた自宅や施設で暮らせるようにするための橋渡しや、在宅介護の方と施設からの緊急時受入れ体制なども行っており、地域包括ケアシステムの医療分野における中核的な役割を担っている。

他に学童クラブの充実について質問した。

交通

公共交通の早期改善について



山根 トミ江

6月の市議選でも、市民から「るのバス」の増発・増便など、公共交通の充実を求める声が多く寄せられた。一日も早い改善を求める。

Q

検討委員会について、メンバー、市民公募の時期、検討回数、期限など具体的なスケジュールは。

A

現在、提言書の内容の確認・分析、具体的な論点整理を進めている。公共交通に関する国の動向にも注意を払い、設置時期や開催日時等を検討していく。新たな検討会議は来年度も継続する考えである。

Q

「るのバス」の運行が予定されていた草花折立地域について、今後の交通対策をどのように考えているか。

A

運行を断念した時の状況に変わりはないが、公共交通空白地域に位置付けられて



おり、地域ニーズを把握しながら、新たな交通手段の導入も含め検討する必要がある。

Q

今後の公共交通について検討委員会で前向きな改善策をとるよう求める。市の考えは。

A

地域を特定したニーズの把握等を行いながら、短期的取り組みとしては公共交通空白地域の解消を、中長期的取り組みとしては公共交通の需要の確保を検討する。他に国民健康保険の広域化について質問した。

都市計画

区画整理ができなかった地域の問題点について



天野 昭昭

武蔵増戸駅周辺は旧五日市町時代から区画整理事業によるまちづくりを計画したが、事業には至らなかった。あの時区画整理をしていればという声を地元で聞く。事業が実施できなかったために、どのような問題が発生しているか。

A

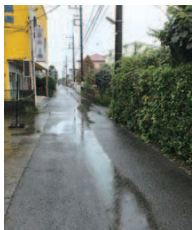
方法で改善していくのか、どのくらい時間がかかるか。武蔵増戸駅南口地区は道路整備を進めているが、合意形成が進まないことから一部路線等の整備に留まっている。今後は、地権者の理解を得ながら取り組みを進めていく。また、一路線を上げるのには5年以上かかる。

Q

市道増戸308号線の雨水対策、増戸311号線残り部分の整備、ファインブラザ前交差点の拡幅は可能か。増戸308号線の雨水対策の先行整備を検討していく。

A

増戸311号線は用地の提供があり、整備に向けて進めていく。交差点は、現況測量が終わったので、地権者・地元と協議を進めたい。他に観光施策について質問した。



Q

それらの問題をどのように

保育

保育園の待機児童問題について



松本 ゆき子

毎年、「保育園に入れなかった」という保護者の切実な訴えを聞く。市は待機児童ゼロに向けて、積極的な対策を取るべきと考える。

Q

保育園を新設する考えはあるか。環境及び利便性から、油平市営住宅跡地が保育園新設の場所として最もふさわしいと思うが。

A

市では認定こども園への移行支援による定員拡大など待機児童対策に取り組んでいる。今後、就学前児童数の緩やかな減少が見込まれていることなども踏まえ、新設は考えていない。

Q

2004年、公立保育所の運営費・施設整備費の一般財源保障がなくなったと説明を受けていたが、国の財源保障がなくなっていないことを認識しているか。

A

公立保育所運営費は、三位

Q

一体の改革に伴う一般財源化により国庫負担金はなくなったが、普通交付税の基準財政需要額の中で措置されていると認識している。

A

保育士の処遇改善の実施や可算率はどうか。保育士等の処遇は、国による運営費処遇改善加算及び都の保育士等キャリアアップ補助金により改善が進んでいる。加算率は、保育士等の経験年数を反映し、運営費が増える仕組みとなっている。

他に防災について質問した。



環境

犬のふん対策について

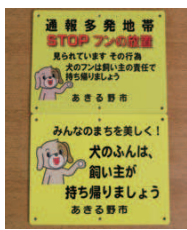


堀江 武史

平成29年8月31日現在4724頭の犬が登録されている。本年は9月20日から26日までが動物愛護週間となっている。市内各地で、一部の飼い主の自覚・モラルの欠如により、道路等に犬のふんが放置され、住民が迷惑をしている。

Q 現在の取り組みは。また、なぜ窓口を生活環境課にできないのか。

A ふんの持ち帰りを促す看板を健康課で希望者に配布している。また、ふんの放置の苦情等には、健康課と生活環境課が連携して現地に行き、看板配布や対策の説明



明をし、清掃活動を行ってもらっている。飼い主には、狂犬病予防注射の際等に啓発用チラシを配布、広報紙とホームページで周知。相談窓口についても併せて周知する。

Q 他市で取り組んでいるイエロー・チョーク作戦をできないか。

A 手軽で、飼い主のマナー向上が期待できるので、犬のふん害で困っている人に対し、今後試行的に啓発用プレートと併せて、イエロー・チョーク作戦の取り組みの紹介及びチョークの支給を行い、効果を検証したい。

他に国民健康保険の外国人の現状について質問した。

政策

公共施設の今後の計画について



村野 栄一

Q 公共施設等総合管理計画では、平成34年に五日市中学校の建て替え、平成36年には東秋留・多西・西秋留小学校、秋多中学校、その後も続いている。まちづくりの拠点にもなる学校の建て替え計画は。

A 施設の長寿命化を前提に、劣化診断の実施及び評価により更新時期の延伸に、適正規模を踏まえる。文部科学省から平成32年までに個別管理計画策定の要請があり、計画的かつ適正な更新を行う。

Q 公共施設の建て替えには多額の費用を要し、また、まちづくりの根幹でもある。公共施設等適正化プロジェクトチームはあるが、時期が迫っている現状では、専門的に検討する組織体制の構築が必要であり、予測の



立案が急務である。具体的な計画は。

A 建築や土木のノウハウを持つつつ、財政計画あるいはファシリティーマネジメントといった先を見通せる力のある人材を育てていく必要があるが、現状限られた人員、また限られた財源の中で最も効果的で、どれだけ投入量を抑え、効果的な公共施設老朽化対策を進められるかの組織について考えていきたい。

他に予防医療における費用と効果について質問した。

※イエロー・チョーク作戦
道路に放置されたふんの周りを黄色いチョークで囲い、発見日時を書くことで、飼い主に警告する取り組み。

※ファシリティーマネジメント
企業や団体などが活動するための施設や環境を、管理し活用する経営手法のこと。

市議の Q&A 市の

福祉

福祉のまちづくりについて



窪島 成一

平成37年の高齢化率が30.6%と推計され、3人に1人が高齢者になると見込まれる。高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加も予測されることから、高齢者の見守り体制の充実が重要である。

Q 高齢者の見守り事業の推進状況と、今後の事業展開は。防災・安心地域委員会による地域見守り事業、新聞、郵便、乳酸菌飲料の配達、一般廃棄物収集における見守り事業のほか、民生委員やふれあい福祉委員などによる見守りも実施している。今後は、高齢者宅を訪問す

る地域見守り事業、新聞、郵便、乳酸菌飲料の配達、一般廃棄物収集における見守り事業のほか、民生委員やふれあい福祉委員などによる見守りも実施している。今後は、高齢者宅を訪問す

る事業者に加え、高齢者が買い物に訪れる事業者等とも協定を締結し、地域全体で見守る体制を拡充する。

Q 認知症高齢者が地域での生活を継続できるよう、認知症サポーターをさらに養成し増やす必要があると考えられているが、現在のサポーターの状況はどのようになっているか。また、今後のサポーター養成講座と事業展開をどのように計画しているか。

A 認知症サポーターステップアップ講座を開催し、認知症高齢者への理解をさらに深めてもらうよう事業を展開。今後は地域において傾聴ボランティアや認知症カフェの運営などの活動につながるよう、事業を推進する。

他に教育の充実について質問した。

教育

特別支援教育について



村木 英幸

Q 平成16年に東京都の特別支援教育体制・副籍モデル事業の地域指定を受けて以来、あきる野市教育委員会では、特別支援教育を推進している。通常の学級に在籍し、何らかの障がいを持って特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の把握と支援体制はどうなっているか。

A 通常の学級に在籍している児童のうち、6.1%の児童に発達障がいの可能性があり、うち48.9%の児童は通級による指導が必要。平成29年度から全公立小学校に特別支援教室を設置し、平成28年度当初では通級指導を受けている生徒は8人だが、今年度当初は142人となり、より多くの児童が障がいの状態に応じた特別な指導を受けられるようになった。支援体制では、特別な配慮を要する児童・生徒の

把握や、個々に異なる指導上の助言を教員に行うため、臨床心理士や医師による巡回相談を行い、個別の指導計画や教育支援計画を作成し、意図的・計画的な指導を行う。

他に高齢者福祉、公共下水道について質問した。



子育て

あきる野市子ども・子育て支援事業計画について



中村 のりひと

Q 人口減少を食い止めるのは難しいが、世代間のバランスを取ることは必要である。高齢者福祉はもちろんだが大変だが、子どもが増えない限りいびつな人口構成に陥る。そこを前提に、これから最も力を入れていかなければならないのは、子育て世代に本来に必要な施策である誰もが使えぬ「地域子ども・子育て支援事業」の充実だと考える。市の見解は。



A 平成32年度以降の次期計画を策定するに当たり、子育て世代のニーズと関係機関の意見なども参考にし、子ども・子育て会議で意見を

伺う。また、現行の各事業を実施していく中でも的確に子育てニーズを捉えながら、子どもを安心して産み育てられる環境整備に取り組んでいく。

Q 里帰り出産時の一時預かりの需要があるが実施するのか。市内に祖父母等が居住している場合などを条件として、里帰り出産を認める方向で動いている。

A 医療的ケアが必要な子の一時預かりは実施するのか。例えば、人工呼吸器を使用している子とか、たんの吸引が必要な子になるが、今回の一時預かりの場所では、ケアをするための設備は作っておらず、受入れは厳しい。

教育

本市の教育について



合川 哲夫

平成29年度から教育基本計画の後期4年間の実施計画が作成され、学校教育はもちろんだが、子育てから社会教育まで網羅されている。

Q 第1次安倍内閣では、教育基本法を改正し、今は世界に誇るべき平和憲法を変えようとしている。このことから歴史の授業は大切と考える。小・中学生の歴史の授業時間はどのくらいか。小学校の6年生で歴史の学習をする時間が約70時間、中学校の歴史的分野の授業は全体で130時間である。その学習は、第1学年、第2学年を通して指導計画に基づいて指導するが、さらに第3学年の中でも学習する。

A 各学校で詩集に作品を出品するという取り組みが行われ、また国語の学習の中では、詩集の作品を見て、ヒントやアイデア、創作のきっかけを見つけている。

Q 西多摩の教育長会議に、全児童への無償配布の提案を議題として上げられるか。どこの市町村も財政が本当に厳しいなか難しいとは思いますが、会議において提案をしてみたいと思う。

他に武蔵引田駅北口土地区画整理事業について質問した。



教育

次期学習指導要領について



清水 晃

Q 指導要領にある幼稚園、小学校における子どもの農業体験の現況について伺う。

A 子どもたちの学びに向かう力、人間性等を育むためには、体験活動の充実が重要である。本市の多くの学校で地域の方々と連携した農業体験を行い、教科等に取り入れた取り組みをしている。特に小学校では、地域の農業経験者の指導のもと、学校園や校外の田畑を活用して、稲作や畑作体験を行っている。幼稚園では、農業学習ではなく、遊びを通しての指導を中心に、豊かな体験により感じることに気づくこと等、自然とのかかわりを学んでいると聞く。

他に草花の市営住宅、地方創生戦略について質問した。

財政

人口減少とあきる野市の将来設計について



奥秋 利郎

Q 引田駅北口土地区画整理事業計画で使える面積は。また事業完了後の想定人口は。

A 産業ゾーンは2万8200㎡。住宅ゾーンは約7万8700㎡。計画上の人口は約1000人、世帯数で400と想定している。

定の段階では、どこにその保留地を設定するか具体的な場所が決まっておらず、事業計画上は施工後の地区内の土地の平均単価をもとに保留地処分金を算定。その結果、1坪当たり約40万円の計算。

Q 国と都からの補助金は21億円と伺っている。これ以外に何か大きな補助金が予想できるか。

A 事業開始後、一般財源負担について都に総合交付金での措置をお願いしている。



No.1

第2回議会報告会 議員と話そう、みんなで話そう

昨年に引き続き、あきる野市議会による議会報告会を開催します。議会でどんなことを話し合ったのか、どんな議論があったのか、「ギカイの時間」だけでは伝えきれない情報をお届けします。また、いくつかのテーマについて、意見交換を行います。皆さんの声を聞かせてください。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

▽日時及び場所
 ・2月1日(木) 午後7時～8時30分 中央公民館
 ・2月4日(日) 午後1時30分～3時 五日市地域交流センター
 ※2日間とも同一の内容を報告します。

▽内 容 定例会議の報告、意見交換
 ▽申し込み方法 直接会場へお越しください。
 ▽その他 保育あり(事前予約が必要です。)
 ▽主 催 あきる野市議会
 ▽問 合 せ 議会事務局 TEL(558)1111(内線2111)



昨年の議会報告会の様子

都市計画

武蔵引田駅北口土地区画整理事業について



たばたあずみ

Q 本事業沿道ゾーンに商業施設の進出が検討されていると聞く。屋敷地域ではスーパーマーケットが撤退した

が、理由をどう見るか。
A 推測も含むが、当該店舗の東側が多摩川で寸断されているなど、商業圏の偏りもひとつの原因ではないか。

Q 清算金の支払いのため、市が提案してきたリバースモーゲージの研究は進められたか。

A 色々な金融機関をあたり、研究を進めている。本事業に特化した金融商品も検討に値するという金融機関もある。清算事務は事業完了の約9年後なので、適時検証の必要がある。

Q 引田地域は北側に大学、南側に坂、近隣に商業施設が3店舗ある。営業がうまくいかない場合を考えたか。20年以上の定期借地契約期間の設置は保障されていると考える。

A どういう負担軽減が考えられるのか、担当以下、日々考えている。説明会等で十分に説明し、理解してもらえよう引き続き努力する。

Q 区画整理の苦労の上、借金で苦勞することにならないよう、負担軽減を図るとともに、親身になって相談に乗るべきと思うがどうか。

A 他に社会教育の推進、公共交通の充実について質問した。



乗るべきと思うがどうか。

※リバースモーゲージ
 自宅を担保にし、住み続けながら金融機関から融資を受けられる主にシニア向けの融資制度。

市議のQ&A

あきる野市議会活動レポート

普通救命講習会



8月18日に、あきる野市議会、日の出町議会、檜原村議会で開催する秋川流域市町村議会正副議長会主催による普通救命講習会が日の出町役場で開催され、AEDの使用法などを学びました。

環境建設委員会 市内視察



環境建設委員会では、9月13日に牛沼初雁地区を視察し、現在の状況を確認しました。(議案第56号)

No.2

第2回定例会第1回臨時会議を開催しました。

あきる野市議会は、9月29日に第2回定例会第1回臨時会議を開催しました。衆議院議員選挙に伴う一般会計補正予算について審議し、全員賛成で可決しました。



傍聴へ行こう!

本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

受付場所	
受付場所	傍聴を希望される方は、会議当日に、あきる野市役所6階にある議会事務局へお越しください。※事前申し込みは不要です。
手 続 き	受付にて、傍聴受付簿に住所・氏名等をご記入ください。傍聴券を交付します。
会議資料	傍聴席入り口に会議資料がありますので、ご自由にお持ちください。議案は閲覧できます。(部数に限りがあります。)
傍 聴 席	本会議場の傍聴席は一般39席・車いす2席・記者5席、委員会室の傍聴席は一般7席、記者3席を設けています。 ※傍聴席には限りがあるため、先着順となります。 ※審議や他の傍聴者の妨げにならない範囲で、会議開始後の入場や途中退席をすることもできます。